

高級車を刺激的に変えてゆく大人のドレスアップマガジン

# VIPCAR

ビップカー Since1995

平成9年3月4日第三種郵便物認可  
2014年4月26日発行  
(毎月1回26日発行・毎月26日発売)

# 4

2014 Vol.217

定価 590 yen

## 低くても擦らない 全切りOKのギリギリ 車高セッティング

**THE NEW MODELism.**  
**現行型主義。**

USF40LS460 / GRS210CROWN

**Girl's VIP**

東北美人が乗る低走シンプル  
UZS186MAJESTA



**ぶるるんプロジェクト**  
メッキ部分をまぶしく仕上げる!!  
ハイスペック洗車用品  
ブドゥーライド

入門者応援企画!  
業界の先輩たちと  
いっしょに考える  
**愛車探し  
究極の選択**



VIPCAR

**大阪オートメッセ**

セダンの最先端はやっぱり大阪  
新しい技&見本がここにある!

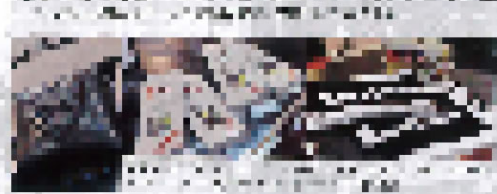
**福岡カスタムカーショー**

ドレスアップシーンを熱くする  
九州のVIPカー100台超え!



**◆フル**

「フル」シリーズの最新モデルは、最新のテクノロジーを搭載し、性能とデザインを追求しています。最新のエンジンと変速機が、よりスムーズな走りを実現しています。



**◆Sense Brand**

センスブランド TEL 046-230-0117 <http://www.sensebrand.jp/>

**充実のマフラーシリーズと新作エアロに注目!**

スポーツカーのスペシャリスト、センスブランドでは、究極の排気システム「ハイパワーブーストフルデュアルバックプラチナムサウンドシステム」や、軽便車に絶対的必需品の追加対応「ステルスキャット」など、マフラーを中心とした新しいドレスアップのあり方を提案。注目はセッションシリーズの新作エアロ、F50シマで、サイドリアピースのデュアル排気は標準!



▶前後バンパーにリアウイング、フェンダーキットなど、セッションフルキットで武装。

↑これら新作のエキゾーストシステムで、左右出しの贅沢さと、センター出しのスポーティー感を合わせたフルバックエキゾーストシステム。

▶繊細なアクセントとなる、ELライトを使った光りモノ系アイテムも新作だ。多彩な色のマジックを華しめる。

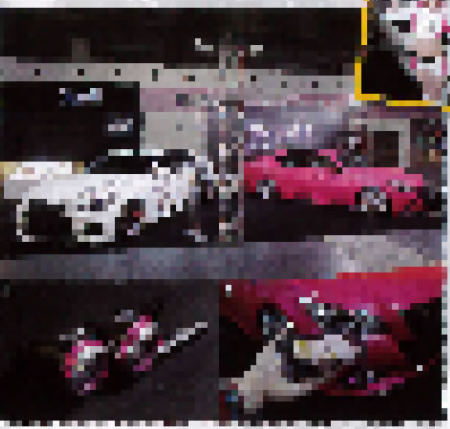
**◆T-001**

「T-001」シリーズは、最新のテクノロジーを搭載し、性能とデザインを追求しています。最新のエンジンと変速機が、よりスムーズな走りを実現しています。



**◆T-002**

「T-002」シリーズは、最新のテクノロジーを搭載し、性能とデザインを追求しています。最新のエンジンと変速機が、よりスムーズな走りを実現しています。



**◆T-003**

「T-003」シリーズは、最新のテクノロジーを搭載し、性能とデザインを追求しています。最新のエンジンと変速機が、よりスムーズな走りを実現しています。





↑角度を立てず、フラットに後方へ伸びていくリアウイング。シルエットをスマートに補正。  
 ↓リアディフューザーのフィンは、主張し過ぎないくらいに落ち着いたイメージ。



1. ハの平状の開口部に走るスリットは、分厚くガシッとしたイメージ。  
 2. フィンの間隔は、それぞれ角を落とし、陰影が楽しめるように。

# Sense Brand SENSETION SERIES

● センスブランド TEL.046-239-0117 <http://www.sensebrand.jp> センセーションシリーズ [Y34セドリック/グロリア]

## Y34 CEDRIC / GLORIA

Price List	
フロントバンパー	¥75,000
サイドステップ	¥64,000
リアバンパー	¥70,000
上唇ホセット	¥190,000
リアウイング	¥38,000
アンダーアライナー	¥38,000
フォグランプ(1セット)	¥20,000
フロントグリル	¥38,000
フロントボンダーキット	¥76,000
ドアモールガーニッシュ	未定

(すべて税別価格)

## Brand New Aero Express



### エントリーユーザーの目線に合わせて ハイレベルなデザインを低価格で!

センセーションシリーズとは、マフラーメーカー「センスブランド」がプロデュースするエアロブランドのこと。このY34セドリック・グロリア用は、これまでに製作された30系セルシオ、180系クラウン、Y50フーガ用に続く、4作目のエアロだ。

センセーションシリーズのキャラクターデザインであり、代表的結城サンが特にこだわりを注ぐ、奥行きをオフセットさせたフォグランプまわりは、もちろん踏襲。一方、従来のデザインと違いを見せるのは、逆ハの字からハの字へと反転させた開口部まわり。デザインコンセプトである3D感&重厚感に、スポーティーテイストをプラス。「タテに分厚いイメージのあるY34にワイド感と力強さを表現したかったから」と、結城サン。

なぜ今、Y34なのかという質問には、「費用という面で、エントリーユーザーが手出ししやすい車種だから」との答え。エアロパーツの価格自体、極端まで抑えられている点も、エントリーユーザーを考えてのことだ。

このY34と同一のテイストで仕上げられたという新作F50シーマは、大阪オートメッセの記事中に紹介(107ページ)。次号では、その仕様と、センスブランドの今後の予定を詳しく紹介するため、お見逃しなく。

3. オリジナルフォグは、どの角度からでもダイナミックに見えるように設計。塗り分けも個性的。4. 車種別設計のフロントグリル。フィン上にメッキキールを施し、セドリックのような堂々とした印象も味わえる作り。5. アンダーアライナーは、センセーションシリーズならではのアクセント。バンパーモールとともに、通常はメッキカラー。ゴールドは、デモカー仕様。6. マフラーメーカーとしてのデモカーも兼ね、東京オートサロンへ出展したため、運転席側、助手席側ともに、サイド窓が塗装されているが、これはあくまでもデモカー仕様の演出。通常モデルは、フラットでシンプルなデザイン。7. このY34用フロントグリルは、ドアモールと一体化できるデザイン。サイドビューに高級なイメージを演出する。

